

影になる部分

Q. 今後の展望は？

A. 現在、中国には代理店を置いているのですが、近い将来、直営の店舗を構えて、そこを中心に日本の文化を広めていきたいですね。

Q. 若者へメッセージを

A. 地方の仕事には、決して都会の企業では味わえないやりがいがあります。もし県外に出たとしても、そこで得た経験をふるさとのために生かしてもらえると心強いですね。

〈代表取締役〉
黒木 宏二
くろき こうじ



碁石の“ミミ”を丸くする「ハビキ」工程は製品の質を左右する重要な工程。改良型ハビキ機を導入することで製品の精度が安定しました。



碁石の厚さは0.3mmごとに25種類あるのですが、4年前まで使われていた厚み測定器（右）では選別精度が低く、削り直し等の手間が掛かっていました



最終工程のキズ選別もこれまで目視で行われていましたが、機械を導入することで品質を保ちながら人手を減らすことに成功しました。



新たな機械を導入したことで、人手が必要な作業に集中できるようになり、各人の仕事の負担が減少しました。



09

蛤碁石榼碁盤製造
ミツイシ 株式会社

〒883-0022
宮崎県日向市平岩8491番地
TEL 0982-54-3800

ミツイシ 株式会社

海外でも人気の蛤碁石 ますます高まるニーズに 伝統の技と機械で対応

拡大し続ける中国の碁碁市場。在庫不足による売り逃しを解消するために、老朽化した機械を更新。限られた人手を最大限に生かせるようになりました。



人と機械、それぞれの強みを生かして
品質も生産性も向上

1 917年の創業以来、日本で唯一の蛤碁石の生産地・日向市で碁石をつくり続けるミツイシ株式会社。蛤の貝殻を原料とする『碁石』は、最高級の碁石として国内外で高く評価されています。

「碁碁は、日本はもちろん、アジア圏で盛んに行われています。特に中国の碁碁人口は4000万人とも言われており、競技用だけでなく、贈答品や工芸品としても蛤碁石のニーズが高まっています。

そのような状況にあつて、当社では、機械の老朽化や人手不足が影響して在庫が間に合わない状況が続いていました」

「中国では今後、さらに市場が伸びていくでしょうが、そのニーズにしっかりと応えられる生産体制が整いました。今回はとても価値のある機械を導入させていただきました」

「新しい機械を入れたことで、さまざまな工程の作業効率が上がっただけでなく、これまで本職の作業のほかに、離れた場所にある機械まで操作しなければならなかった職人さんが、本来の作業に集中できるようになりました。

「中国では今後、さらに市場が伸びていくでしょうが、そのニーズにしっかりと応えられる生産体制が整いました。今回はとても価値のある機械を導入させていただきました」

年々前から使われ続けてきたもので精度が低く、その後の工程で削り直し等不要な作業が発生していました。

「絶対に職人さんの手が必要な工程はあるのですが、効率化できる工程もあるのではないかと。そこを見直していこうというところで4台の機械を導入したのでです」

新しい機械を入れたことで、さまざまな工程の作業効率が上がっただけでなく、これまで本職の作業のほかに、離れた場所にある機械まで操作しなければならなかった職人さんが、本来の作業に集中できるようになりました。



ものづくり補助金活用 **ココ** がポイント!

新たな厚み測定選別装置で 選別精度が格段に向上

精度が低いことから大量生産の妨げとなっていた原料の厚み測定。碁石厚み測定選別装置を導入したことで、原料の一番厚い部分ではなく、原料の中心で測定選別できるようになり、選別精度が20%以上向上しました。

point!